

一体型 LED ベースライト REALPLATE Straight(ストレートタイプ)

20形, 40形

この度はお買い上げ頂き、誠に有難う御座います。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使い頂くために、この取扱説明書をよくお読み下さい。また参照できるように保管ください。

■照明器具の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられております。工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

■40形のLEDバーは40形の取付ベースと組合わせてご使用ください。
20形のLEDバーは20形の取付ベースと組合わせてご使用ください。

40形LEDバー(光源)

40形	5550lmタイプ	OPI-1208PDH2・N
	4050lmタイプ	OPI-1208PD2・N
	2000lmタイプ	OPI-1208PD1・N

20形LEDバー(光源)

20形	2200lmタイプ	OPI-608PD2・N
	1050lmタイプ	OPI-608PD1・N

40形取付ベース(器具本体)

40形	トラフ	OJ-1258C
	反射笠	OJ-12515K
	逆富士 150W	OJ-12515V
	逆富士 230W	OJ-12523V

20形取付ベース(器具本体)

20形	トラフ	OJ-638C
	反射笠	OJ-6315K
	逆富士 150W	OJ-6315V
	逆富士 230W	OJ-6323V

安全に関するご注意



警告

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う危険が想定されます。

- LEDバーを単独で使用しないでください。必ず指定のOPTILED LIGHTING製のREALPLATEストレートタイプと取付ベースと組み合わせてください。落下・感電・火災の原因となります。
- 施工は、取付方法に従って確実に行ってください。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- LEDバー・取付ベースを分解・改造しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- LEDバーのパネルは樹脂製のため、取り扱いには注意してください。破損によりケガの原因となります。
- LEDバーが破損した状態で使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)、周波数以外の電源で使用しないでください。感電・火災・故障の原因となります。
- 電線接続は確実に行ってください。発熱・火災の原因となります。
- アース工事は電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。



注意

取扱いを誤ると人が負傷するか、財産に損害が生じる危険が想定されます。

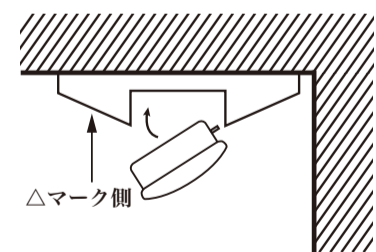
- 本製品は屋内専用です。屋外や雨の吹き込みを受ける場所、直射日光のあたる場所、湿気の多い場所、振動の大きな場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、-20～45℃以外では使用しないでください。指定外の周囲温度で使用すると短寿命の原因となります。
- 一般屋内でご使用の場合でも、器具周辺に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。(一部の食品、車の排気ガスには硫黄成分が含まれています。)光学性能に影響を与える場合があります。
- LEDバーのパネルはポリカーボネート製のため、直射日光のあたる場所などの紫外線の多い場所、ヘキサンやアセトンなどの有機溶剤使用される場所では使用しないでください。パネルの劣化・破損の原因となります。
- 照明器具の清掃は、水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤では拭かないでください。変色などの光学性能の劣化、変質、強度低下による故障の原因となります。
- 調光機能のついた機器や回路には絶対に取り付けしないでください。破損・発煙の原因となります。

施工上の注意

- 照明器具の取り付け、取り外しは電気工事の有資格者が行ってください。
- 電線の接続は必ず電源を切ってから行ってください。器具の故障の原因となります。
- 電源線はVVF線φ1.6mmまたはφ2.0mmをお使いください。
- LEDバーの取り付けには方向性があります。壁面付近に取り付ける場合、本体の△マークを室内側にしてください。

■定格

	Model	電圧 (V)	電流 (mA)	電力 (W)
40形	OPI-1208PDH2・N	100	390	37.0
		200	194	36.0
		242	174	35.8
	OPI-1208PD2・N	100	290	27.4
		200	144	26.6
		242	127	26.4
OPI-1208PD1・N	100	145	13.7	
	200	72	13.0	
	242	64	12.8	
20形	OPI-608PD2・N	100	150	14.5
		200	80	14.0
		242	69	13.8
	OPI-608PD1・N	100	74	7.3
		200	45	7.7
		242	41	7.8



株式会社 OPTILED LIGHTING

〒110-0016

東京都台東区台東4丁目18番7号
シモジビルディング8階

お問い合わせ先

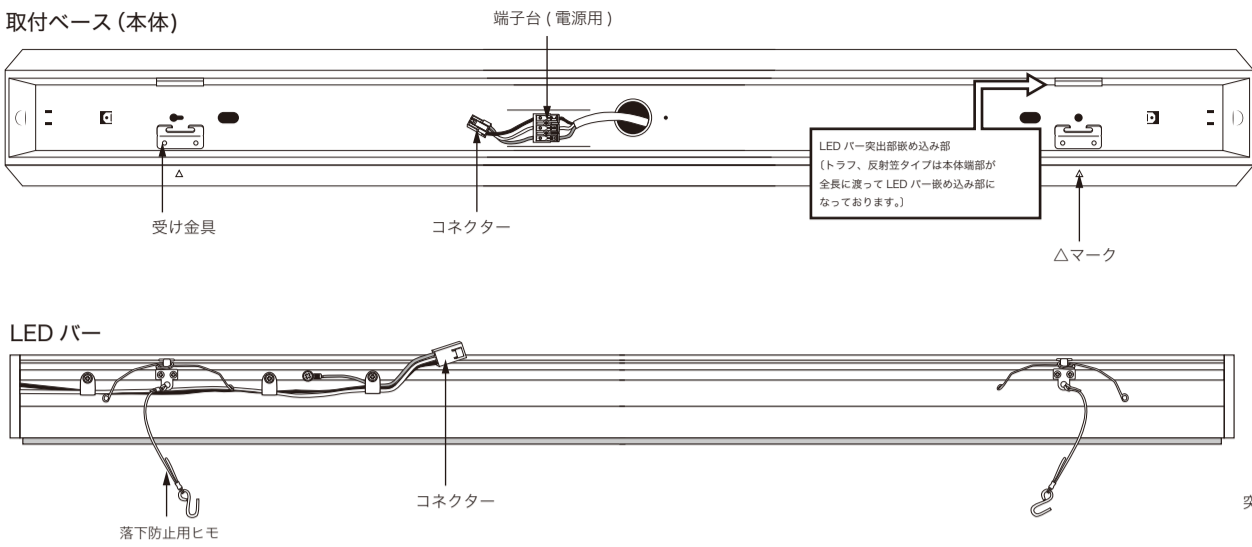
TEL : 03-5812-3566

受付時間：10:00~18:00

(土・日・祝日・年末年始・夏季休業期間・会社都合による休日を除く。)

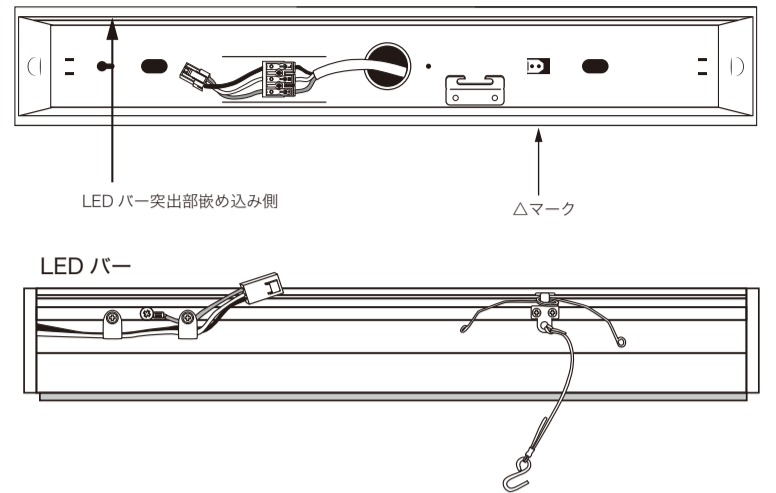
40形【逆富士タイプの例】

取付ベース(本体)



20形【トラフタイプの例】

取付ベース(本体)



1. 取り付け前の確認

- ・蛍光灯器具から REALPLATE に取り替える場合、ブレーカーの交換が必要な場合がございます。予めご了承ください。
- ・器具質量【例】2.4kg：OJ-12515V+LEDバー OPI-1208PD2-N) に十分に耐えるよう、取付ボルト又は木ネジ取付部(ネジ掛代)の強度を確保してください。
- ※不備があると器具落下・感電の原因となります。

2. 取付ベース(本体)

2-1. 取付ベースの方向性の確認

- ・本体側面にあるΔマーク側を確認ください。
- ・Δマークの反対側にLEDバーの突出部を嵌め込みますので、その方向性を考慮して、本体の方向を揃えて設置するようにしてください。

2-2. 取付ベース(本体)の取り付け

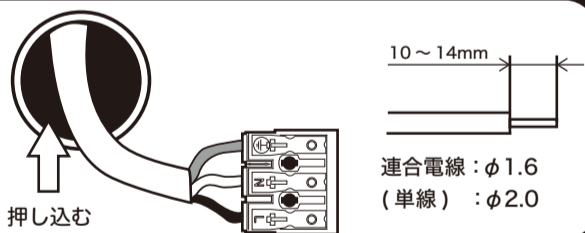
- ・電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおいてください。
- ・本体を取付ボルト又は木ネジで確実に取り付けてください。(取付ボルト推奨トルク値：1.5N.m)
- ※不備があると器具落下の原因となります。

2-3. 電源線・アース線の接続

- ・電源線・アース線を確実に端子台(電源用)に確実に差し込んでください。
- ・D種(第3種)接地工事が必要です。
- ・端子台の最大送り容量は右表の通りです。

端子台の最大送り容量		明るさタイプ	容量
40形	OPI-1208PDH2・N	5550 lm	11A
	OPI-1208PD2・N	4050 lm	14A
	OPI-1208PD1・N	2050 lm	20A
20形	OPI-608PD2・N	2200 lm	20A
	OPI-608PD1・N	1050 lm	20A

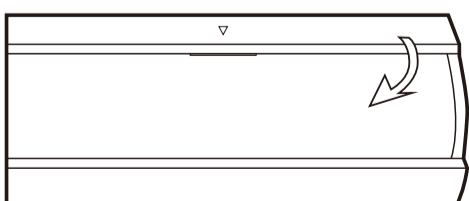
注) 電源線接続後、余分な電源線はLEDバーとのあたりを防ぐため電源穴へ押し込むか、電源線を押し付けて処理すること。



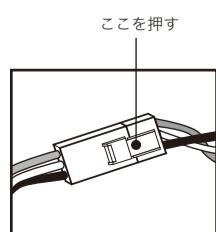
※接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。

■ LEDバーを取り外す場合

- ・本体のΔマークを目印に、手でLEDバーを引き下げます。工具でこじ開けますと、LEDバー破損の原因となります。
- ・取付パネを本体の金具から外します。
- ・コネクターを外します。
- ・落下防止用のヒモを外します。本体側と接続されているS字金具がつぶされている場合は、ペンチ等で先端が開くようにしてください。



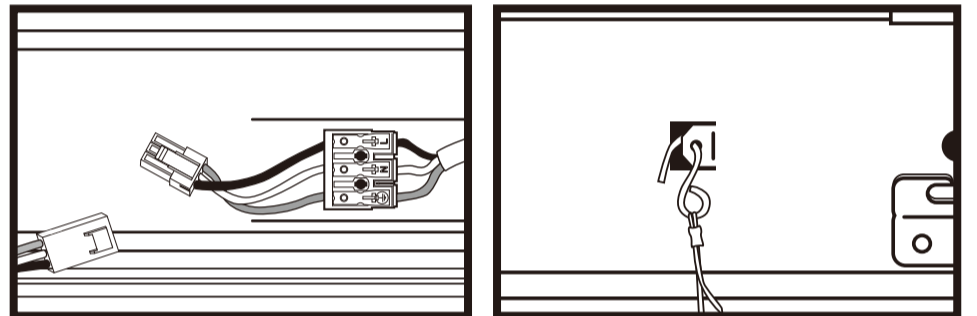
- ・コネクターを外すときは右図の矢印部を押して両コネクターを引き離すようにしてください。



3. LEDバー

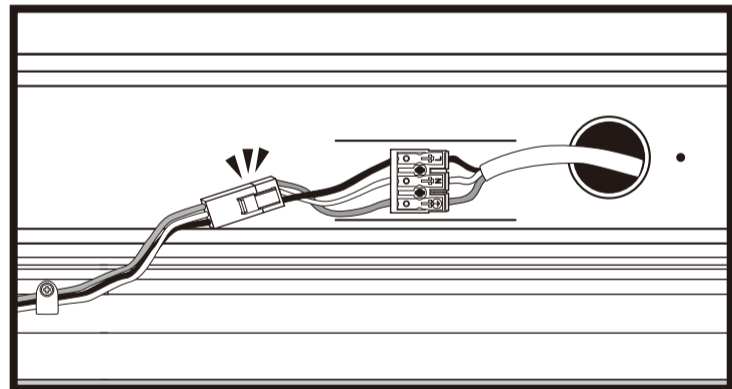
3-1. LEDバーの引っ掛け

- ・本体内の電源端子から出ているコネクターとLEDバーのコネクターの方向が合うように両者の方向を合わせてください。
- ・LEDバーにある落下防止用のひものS字金具を本体の取り付け部分に挿入し、金具をペンチ等でつぶしてください。
- ※取付が不完全な場合、LEDバー落下の原因となります。



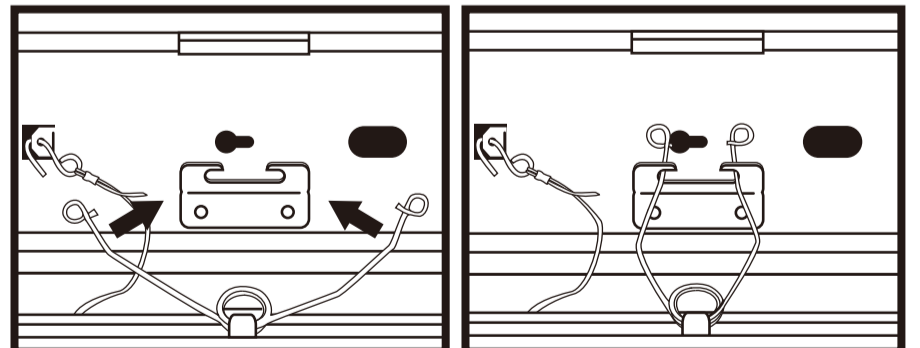
3-2. コネクターの接続

- ・本体とLEDバーのコネクターを確実に接続してください。『カチッ』と音がするまで嵌め込んでください。
- ※接続が不完全な場合、火災の原因となります。



3-3. LEDバーの取り付け

- ・LEDバーの突出側から挿入する。
- ・LEDバーの取付パネを本体の受け金具に確実に嵌めてください。



- ・コネクターの配線を挟まないようLEDバーを本体に押し上げてください。
- ※不備があるとLEDバー落下の原因となります。

